

デジタル委員会 次第

日時：令和 8 年 6 月 10 日(水) 10:00～

場所：日田商工会館 4階 議員サロン

1. 委員長挨拶

2. 議題

1) デジタル委員会の今後について

2) 商工会議所内のデジタル化について

3) デジタル窓口開設について

4) その他

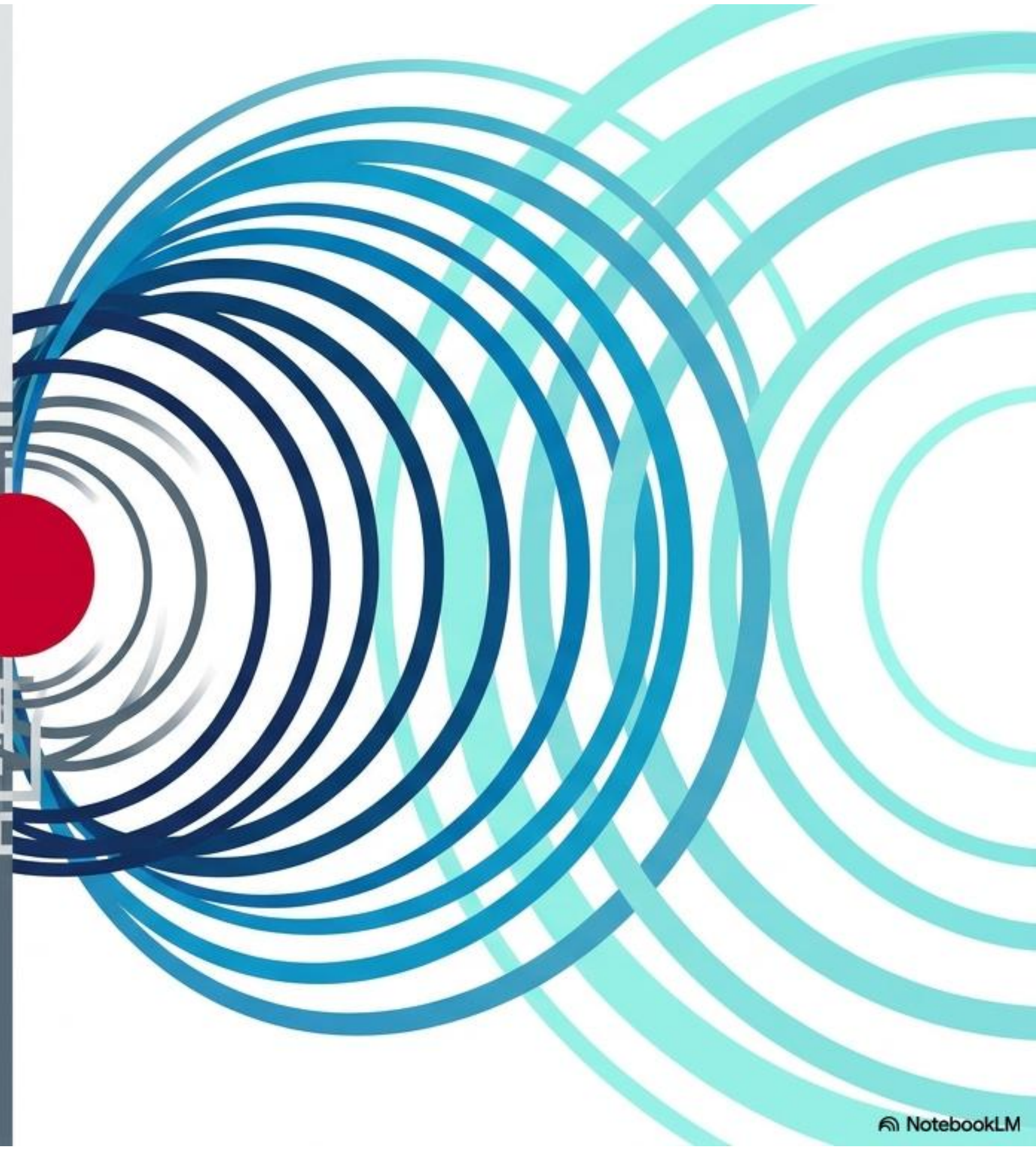
★登録者数

	公式 LINE	E-MAIL
3 月	2 2 8	2 5 7
4 月	2 6 8	3 0 5
5 月	3 4 5	3 3 1

3. 閉会

デジタル委員会の 今後の推進計画

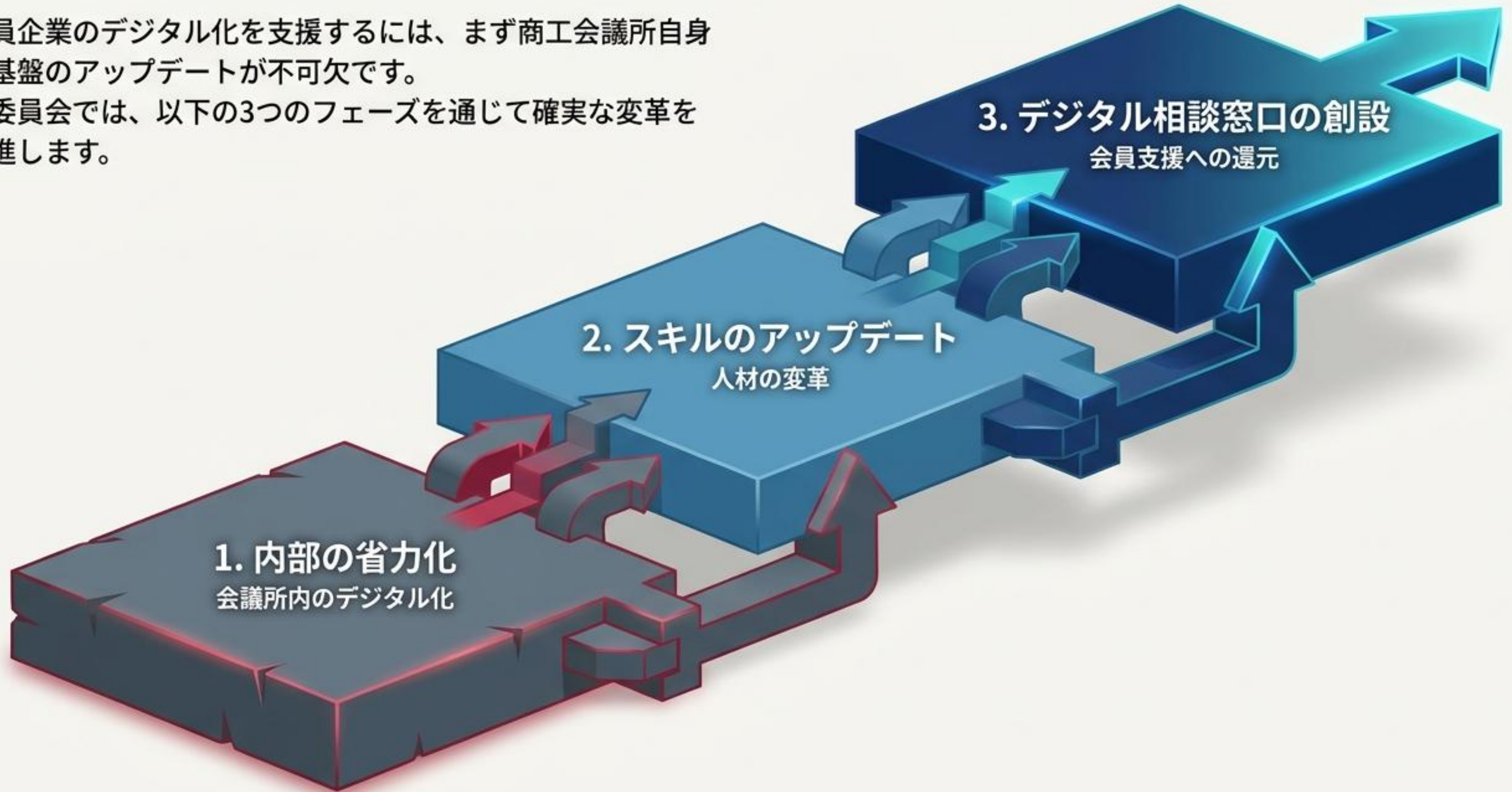
内なる変革から、地域のDX推進へ



地域のDXを牽引するための「3ステップ・ロードマップ」

会員企業のデジタル化を支援するには、まず商工会議所自身の基盤のアップデートが不可欠です。

本委員会では、以下の3つのフェーズを通じて確実な変革を推進します。



現在の業務における「摩擦」と「ボトルネック」

省力化・デジタル化の第一歩として、広く行われている「紙での回覧」と「押印」の現状を直視し、検討対象とします。

文書回覧
(会議案内、
融資決定通知等)

文書受付

職員回覧

押印

押印

担当者による綴じ込み

出張手続き

出張伺い作成

出張者・会計担当者

押印

押印

管理職決裁

押印

会計処理

振替伝票等の
作成

複数名(担当2名)に
よるチェック・決裁

押印

押印

管理職決裁

押印

各種業務執行

文書作成

職員回覧

押印

綴じ込み

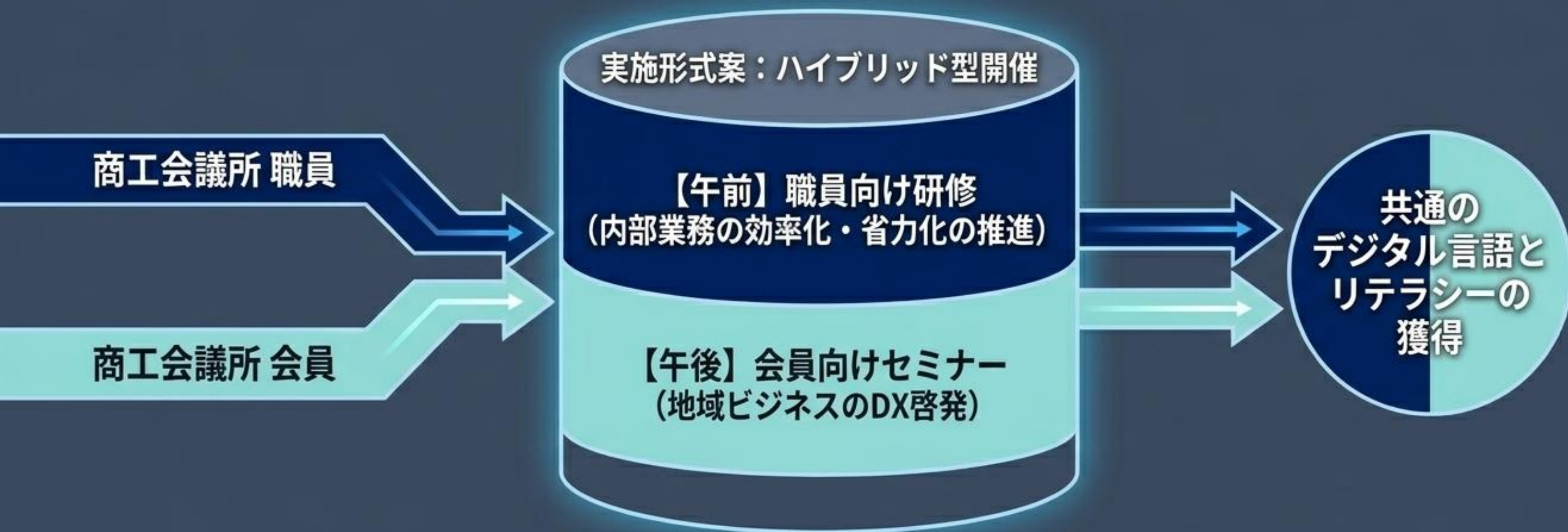
STEP1：ボトムアップによる「業務の効率化・省力化」

トップダウンでのツール導入ではなく、現場の職員自らが業務を洗い出し、ルールを再構築する理想的なフローを目指します。



STEP2：伴走型の「デジタルスキル・アップデート」

職員の内部スキル底上げと、会員のDX推進（インプットの機会）を並行して実施し、地域全体のリテラシーを効率的に高めます。



変革を加速させる外部専門機関とのエコシステム連携

商工会議所単独ではなく、県のトップランナーと連携し、最高峰の知見を内部に取り込みます。

おおいたAIテクノロジーセンター
(ハイパーネットワーク社会研究所)

- AIの普及啓発・人材育成、GPU環境の無償提供拠点
- 実践的研修の実績：「今日から仕事が1時間早く終わる！生成AI実務活用ワークショップ」など
- 方針：活動に賛同し、事例共有を行う「推進メンバー」としての連携も視野

商工会議所

大分県商工観光労働部
先端技術挑戦課
先端技術・DX推進班

STEP3：次年度目標「デジタル相談窓口」の創設

内部DXと人材育成の完了により、来年度内、商工会議所内に適切な相談を受け付けるための基盤が完成します。



- ・ 窓口設置：AIやDX等に関する「デジタル相談窓口」
- ・ 提供価値：自ら業務効率化を体現した職員による、説得力のあるサポート

広域連携：県下最大規模のDX支援「ONE OITA」への接続

本商工会議所の窓口は、大分県が総力をあげる支援策への強力な「入り口」として機能します。
窓口業務における周知・活用促進が極めて重要です。



商工会議所
デジタル相談窓口
(First Touchpoint)

シームレスな接続

大分県 中小企業等DX総合支援事業 (ONE OITA)

- ・ 支援内容：専任DXコンサルタントによる
伴走型支援、デジタルツール
導入補助金
- ・ 受付開始日：2026年6月22日（月）より
- ・ 窓口：公式ウェブサイト、サポート窓口
(ビジカム等)

ビジカム

Business come true Base



デジタル変革がもたらす会議所の提供価値（Before / After）

	【現状】 (Before)	【未来】 (After)
1. 内部業務	紙と押印の反復・滞留 によるボトルネック 	デジタル化・省力化による スムーズで透明性の高い決裁
2. 職員の 働き方	アナログ処理に リソースを奪われる状態	AI等の活用による生産性向上と、 高付加価値業務へのシフト
3. 会員へ の役割	専門窓口の不在・ 受動的な対応	「デジタル相談窓口」を 起点とした伴走支援と、 ONE OITAへの確実な橋渡し

委員会への承認事項とネクストアクション

本推進計画を実現するため、以下の第一歩に着手いたします。

【承認事項】

商工会議所の内部DX・人材育成から窓口設置に至る
「3ステップ推進計画」の実行

【直近のアクション】

1. 職員間での現状業務（紙・押印等）の洗い出しおよびルール策定の開始
2. おおいたAIテクノロジーセンター（ハイパーネットワーク社会研究所）等との具体的な連携協議の開始



Step 1

Step 2

Step 3



デジタル技術を活用した業務改善や経営変革をお考えの
県内中小企業・個人事業主の皆さまへ

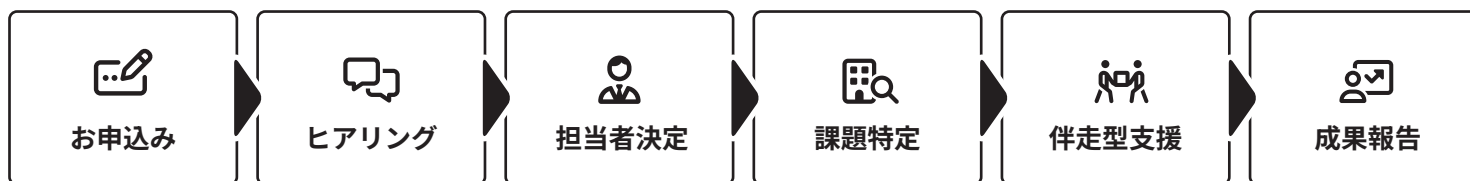
今年こそ、 プロと本気のDXを。

デジタル・トランスフォーメーション

大分県が各専門機関と総力をあげた、
過去最大規模の DX 支援プログラムが始まります！

- ✓ 事業領域や経営課題に応じて、専任の DX コンサルタントが支援を担当
- ✓ オンライン手続きがご不安な方でも安心の窓口サポート体制
- ✓ 県内の豊富な実績から導かれるデータ経営に向けた自走の支援
- ✓ 計画だけで終わらせない、実行を後押しするデジタルツール導入補助金

当事業の支援の流れ



事前予告 2026 年 6 月 22 日（月）より公式サイト・サポート窓口での相談申込み受付を開始



ビジカム 手続きサポート窓口

大分銀行 日岡支店・津留支店・萩原支店 2F
住所：〒870-0921 大分市萩原 1 丁目 19 番 39 号

当プログラムについて詳しくは
公式 Web サイトをご覧ください。
<https://one-oita.jp>

Q ONE OITA

検索



主催：大分県商工観光労働部

運営委託：大分県地域 DX 推進コミュニティ（株式会社オーイーシー／イジゲングループ株式会社）

当資料に関するお問い合わせ先：dx-oita@ijgn.jp

ONE
OITA

おおいた AI テクノロジーセンター推進メンバーについて

おおいた AI テクノロジーセンター（以下「AI センター」という。）は、AI 技術の普及、人材育成、教育活動、情報発信などの取組を通じて、大分県の企業・団体・個人が AI を「だれもが、いつでも、どこでも、好きなように AI を使うことのできる健全な社会の実現と推進」を目的として活動しています。

推進メンバーは、AI センターの活動に賛同し、それぞれの立場や専門性を活かしながら、地域における AI 活用の推進に共に取り組みます。

1 AI センターの取組

AI センターでは、次のような取組を実施しています。

- ・ AI 技術の普及啓発（セミナー、イベント等）
- ・ AI 人材の育成（企業向け研修）
- ・ AI 教育活動（学生向け研修）
- ・ AI ビジネス創出
- ・ AI 活用事例の情報発信
- ・ GPU など AI 開発環境の提供

これらの活動を通じて、県内企業や教育機関、個人が AI を活用しやすい環境づくりを進めています。

2 推進メンバーとは

推進メンバーとは、AI センターの理念および取組に賛同し、地域における AI 活用の推進に協力する個人を指します。

推進メンバーは、それぞれの専門分野や経験を活かしながら、AI センターの活動に対する助言や意見交換、事業への協力などを行います。

なお、推進メンバーは AI センターの方針を決める組織ではなく、AI センターの取組を支える協力メンバーとして位置付けます（図 1）。

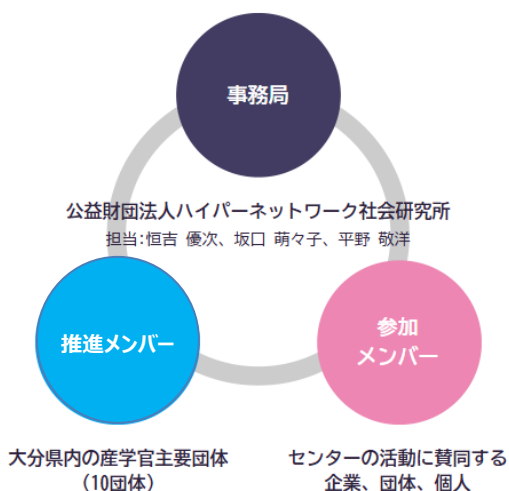


図 1：推進メンバー位置付け

3 推進メンバーに期待すること

推進メンバーには、次のような関わり方を期待しています。

- ・ AI センター活動に対する助言や意見交換
- ・ 地域における AI 活用の事例や課題の共有
- ・ AI センター事業への協力（講演、企画、教育・ビジネス連携など）
- ・ 必要に応じたテーマ別活動への参加
- ・ 自身の関心や問題意識に基づき、主体的に意見発信や提案を行うこと

※事務局より、各種取り組みに関してご協力をお願いする場合がございます。

4 推進メンバーとして参加する意義

推進メンバーは、AI センターの活動を通じて、県内企業における AI 活用の事例や AI 導入の実証事業、人材育成・教育活動の取組などの情報に触れる機会を得ることができます。

また、AI センターの取組を通じて、県内企業や教育機関との新たな連携や協働の機会を得ることができ、AI を活用したビジネス創出や課題解決につながる可能性があります。加えて、テーマ別活動等を通じて関心分野に応じた深い議論や検討に関わることができ、地域における AI 活用の推進に主体的に関与することができます。

5 推進メンバーの構成および任期

推進メンバーは、行政、企業、教育機関、AI 関連分野の専門家など、AI センターの活動に関心を持つ多様な立場の個人で構成します。

人数は AI センターの活動状況に応じて調整します。

また、推進メンバーは、事務局の推薦およびセンター長との協議を経て参加いただきます。任期は1年を目安とし、継続的な参加を歓迎します。

6 定例打合せについて

推進メンバーの定例打合せは、年6回程度（5月・7月・9月・11月・1月・3月を目安）開催します。

定例打合せでは、AI センター活動の報告や AI 普及活動の状況、人材育成事業の進捗、AI 活用事例の共有などについて意見交換を行います。

また、意見交換のテーマは、推進メンバーそれぞれが持ち寄ることを基本とし、事例や課題、今後取り組みたい内容などを共有しながら議論を深めます。

なお、各回の詳細なテーマ設定や進め方については、状況に応じて柔軟に調整します。

7 テーマ別活動

特定のテーマに関心のある推進メンバーを中心に、小規模なテーマ別活動（ワーキンググループ等）を立ち上げることができます。

活動内容は、教育支援、イベント企画、情報発信施策、技術活用事例の共有、実証支援に関する検討など、AI センターの目的に沿った内容とします。

活動期間や進め方は、テーマごとに柔軟に設定します。

8 大切にしている姿勢

推進メンバーは、次の姿勢を大切にします。

1. 実践重視：できることから着実に取り組みます。
2. 地域との連携：大分県内の多様な主体との協力を大切にします。
3. オープンな姿勢：県内外の知見や技術を積極的に取り入れます。
4. 相互尊重：立場や専門性の違いを尊重し、建設的な対話を行います。
5. 公平性の確保：特定の組織に偏らない公正な姿勢を保ちます。
6. 信頼の保持：共有された情報は相互の信頼に基づき適切に取り扱います。

会議・研修会等の案内、公庫の融資決定通知・各種共済の手数料明細

文書受付 → 職員回覧（**全員押印**）→ 回覧終了後、担当が各綴に綴じる

出張伺い

各会計担当者が出張伺いに出張者・出張内容・旅費等を書き込む →

出張者・会計担当者が**押印** → 管理職決裁（**押印**）

各種会計（総務・相談所・各種外郭団体等）

支出伺い：各会計担当者が作成した振替伝票をチェックし**押印**（担当2名）→

管理職決裁（**押印**）→ 回覧終了後、会計担当者が支払いを行い、各綴に綴じる

月締報告：各会計担当者が作成した決算書等をチェックし**押印**（担当2名）→

管理職決裁（**押印**）→ 回覧終了後、会計担当者が各綴に綴じる

会議開催・業務執行の決裁

文書作成 → 職員回覧（**押印**）→ 回覧終了後、担当が各綴に綴じる

※内容によっては、管理職のみ決裁（押印）の場合あり

《主な内容》

各種会議開催案内、県・市への報告関係、各種共済（小規模・倒産防止・中退共）の申込・解約等の手続き、共済制度（アクサ生命）の給付金支給や送金業務、景気動向調査、外郭団体業務（女性会・青年部・ジョブステーション・交流プラザ日田・青申会・商工祭・雇用協・中九州・労保日田地区協議会 など）、会員入脱会処理、労保事務組合業務、法定台帳管理、貿易証明業務 など